

## 令和6年度事業計画

昨年末、2050年の地域別の将来推計人口が、国立社会保障・人口問題研究所から発表されました。それによると、2020年の宮崎県の総人口107万人が、30年後の2050年には79.7万人と25.5%減少し、高齢化率も40.8%になると推計しています。

今後も少子化の進展によって子どもの数が減少していくことが見込まれており、この問題は本県の社会経済を維持する上でも、これ以上放置できない状況にあります。

これからの社会の担い手として期待される子どもたちの役割は相対的に高まりつつあり、同時に教育が果たすべき役割もますます重要になってきています。

私学を取り巻く情勢が激変する中で、公教育の一翼を担う私学が、国の進める教育改革に的確に対応し、教育の一層の充実と経営の健全な運営を行っていくため、会員相互が協力しながら、教職員の資質向上のための研修事業や退職手当資金給付事業等を通じて、本県の教育文化の高揚に寄与していきます。

### 1. 研修事業

設置者及び教職員の更なる資質向上のため、次の研修及び研修補助を行う。

種別	実施時期	内容等	予算(千円)
管理者研修	7～2月	私学経営、人材育成など	900
パワーアップ研修		コミュニケーションなど	
会計基準研修		学校法人会計など	
人権啓発教育地区別研修		実施地区：宮崎、都城、延岡	
私学団体が実施する研修への補助		対象：中高協会、宮幼連、専各連	2,080

### 2. 魅力ある学校づくり事業

グローバル化及びICT化を踏まえた新しい教育ニーズへ対応するため、次の事業を行う。

事業名	内容	予算(千円)
外国人講師招致助成事業	グローバル教育の向上のため、外国人講師により語学教育を行う学校に対し、経費の一部を助成する。	500
教育設備近代化促進助成事業	教育内容の充実を図るため、教育に係る情報機器、教育機器等を購入した学校に対し、経費の一部を助成する。当年度は、都城、県南、小林、県北の幼稚園・認定こども園が対象。	500

### 3. 融資斡旋事業

一般的な事業性融資に比べて利率が低く設定されていることや、融資窓口での計画書作成の支援が受けられる等のメリットをアピールして、会員の利用促進に努める。

#### (1) 施設設備資金

資金使途	私立学校の施設及び設備の整備に要する費用
期 間	15年（うち据置期間 1 年）
利 率	1.000%（変動金利）
融 資 限 度 額	中学・高校 100,000千円 幼稚園 50,000千円 専修学校・各種学校 50,000千円
融 資 枠	500,000千円
担 保	物的担保・保証人
融資機関	宮崎銀行、宮崎太陽銀行
償還方法	半年賦元利均等償還
申込時期	随時

#### (2) 既往債務弁済資金

資金使途	私立学校の施設整備に要した資金で下記融資機関以外から借入れた資金の弁済に要する費用
期 間	10年（うち据置期間 1 年）
利 率	1.800%（変動金利）
融 資 限 度 額	中学・高校 100,000千円 幼稚園 50,000千円 専修学校・各種学校 50,000千円
融 資 枠	500,000千円
担 保	物的担保・保証人
融資機関	宮崎銀行、宮崎太陽銀行
償還方法	半年賦元利均等償還
申込時期	随時

(3) 経営安定資金

資金用途	私立学校の経営の安定に要する費用
期間	1年
利率	0.975% (変動金利)
融資限度額	3,000千円
融資枠	30,000千円
担保	保証人
融資機関	宮崎銀行、宮崎太陽銀行
償還方法	一括償還
申込時期	随時

4. 利子補給金補助事業

融資斡旋事業を利用した私立学校に対し、適切な助成に努める。

補助対象	① 施設設備資金及び既往債務弁済資金の償還に伴う利子額 ② 経営安定資金の償還に伴う利子額
対象期間	令和6年2月21日から令和7年2月20日までの償還利子
補助率	① 償還利率の4%を超える分 ② 以下のとおり。ただし、償還利率が5%未満のときは①による。 $\frac{1}{\text{償還利率}(\%)}$

## 5. 退職手当資金給付事業

私立学校に勤務する教職員に対して退職手当資金を適切に給付するため、適正かつ確実な事業運営を行う。

### (1) 中高退職金事業

負担金	2,680,560千円 × 85/1000 ≒ 277,848千円 (標準給与年額) (負担率)	
県補助金	定額補助	44,928千円
退職手当 資金給付	3月末退職予定者 70名	344,000千円
	4月～2月退職予定者 11名	18,000千円
	計 81名	362,000千円
基金積立	(1) 負担金等によるもの	
	5年度末残高	89,417千円
	6年度取崩見込額	89,417千円
	計	0円
	(2) 県補助金によるもの	
	5年度末残高	3,434,030千円
	6年度積立見込額	44,928千円
	6年度取崩見込額	41,930千円
	計	3,437,028千円
		(1) + (2)

### (2) 幼稚園等退職金事業

負担金	3,317,268千円 × 81/1000 ≒ 268,699千円 (標準給与年額) (負担率)		
県補助金	定額補助	40,919千円	
退職手当 資金給付	3月末退職予定者 102名	181,090千円	
	4月～2月退職予定者 18名	21,726千円	
	計 120名	202,816千円	
基金積立	(1) 負担金等によるもの		
	5年度末残高	367,268千円	
	6年度積立見込額	64,613千円	
	計	431,881千円	
	(2) 県補助金によるもの		
	5年度末残高	1,650,296千円	
	6年度積立見込額	40,919千円	
	計	1,691,215千円	
		(1) + (2)	2,123,096千円

## 6. 事務受託事業

各私学団体から事務を受託し、それぞれの団体の事務を効率的に執行することによって、私学に対する総合的、一体的な支援を行う。

### (1) 受託団体及び受託料

団体名	受託料(円)
宮崎県私立中学高等学校協会	3,767,400
(一社)宮崎県幼稚園連合会	5,651,100
(一社)宮崎県専修学校各種学校連合会	1,883,700
宮崎県学校法人立専修学校協会	1,883,700
計	13,185,900

### (2) 私学振興会運営費の負担割合

公益目的事業 (51%)			収益目的事業 (49%)			
教育振興事業等	中高退職金事業	幼稚園等退職金事業	中高協会	宮幼連	専各連	法専協
2.0%	28.0%	21.0%	14.0%	21.0%	7.0%	7.0%

## 7. 要望活動

退職手当資金給付事業の安定的な運営を図るため、県に対して退職手当資金給付事業に係る補助金の増額・拡充を要望する。

また、各私学団体と連携し、県議会に対して私学助成の拡大・強化に関する請願を提出する。

## 8. 会議等

理事会 2回程度

評議員会 1回

運営委員会 数回

運営に関する協議 数回